



2023年7月27日

各位

会社名 株式会社トリプルアイズ
代表者名 代表取締役 山田 雄一郎
(コード番号：5026 東証グロース)
問合わせ先 取締役 CFO 加藤 慶
(TEL. 03-3526-2201)

第三者割当により発行される株式の募集に関するお知らせ

当社は、2023年7月27日開催の取締役会において、以下のとおり、第三者割当により発行される株式の募集を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

1. 募集の概要

(1) 払込期日	2023年9月29日
(2) 発行新株式数	普通株式 403,700 株
(3) 発行価額	1株につき金 743 円
(4) 調達資金の額	299,949,100 円
(5) 募集又は割当方法 (割当予定先)	第三者割当の方法により、下記の者に下記の数の当社普通株式を割り当てる。 PROCESS UNIT FUND 投資事業有限責任組合 403,700 株
(6) その他	金融商品取引法に基づく有価証券届出書の効力が発生することを条件とします。

2. 募集の目的及び理由

当社グループは、「テクノロジーに想像力を載せる」という経営理念の下、テクノロジーと想像力との融合によるイノベーションの追求によって、テクノロジーと人が共存する社会の創生を目指しております。当社グループの AIZE 部門においては、独自に開発した AI エンジンによる画像認証等のサービスを展開しており、ディープラーニングに代表される機械学習を用いた AI の研究開発に取り組んできており、とくに顔認証においては高い精度を実現しております。

本日開示の「株式会社ゼロフィールドの株式の取得（子会社化）に関するお知らせ」に記載の通り、同社が取り扱う GPU サーバーの活用によって AI 技術に必須であるコンピューティングパワーを安定的に確保できることや、販売プロモーションにおける協力によって営業上のシナジー効果が見込まれることから、子会社化することを決定いたしました。

下記「6. 割当予定先の選定理由等（2）割当予定先を選定した理由」に記載の通り、上記の買収を進めていく中において、株式会社ゼロフィールドの取締役である村田敦氏、平嶋遥介氏に当社グループの経営理念及び経営方針等に共感していただきました。村田敦氏については、株式会社ゼロフィールドの代表取締役を退任する予定ですが、今後も顧問として主に営業面での協力をいただくことを想定しております。平嶋遥介氏については村田敦氏の後任として代表取締役に就任する予定であります。割当予定先の関係者との協力関係を確固たるものとする目的で、村田敦氏、平嶋遥介氏が出資者となっている PROCESS UNIT FUND 投資事業有限責任組合を割当予定先とする第三者割当増資を実施することが、当社の企業価値及び株主価値を向上するための最善の方法であると考え、本第三者割当増資により新株式を発行することを選択いたしました。なお、今回の資金調達にあたり既存株主の皆様への影響も考慮し、その他の様々な選択肢についても検討いたしました。以下、本第三者割当が最善と判断いたしました。

- ① 間接金融（銀行借入）による資金調達は、負債性のある資金調達を追加することで自己資本比率の低下を招き、当社の財務体質の維持・強化に資さないこと。
- ② 公募増資や株主割当、ライツオファリングについては、調達に要する時間及びコストも第三者割当によるエクイティ・ファイナンスと比べて長期かつ割高となる傾向にあることや、中長期的な企業価値及び株主価値の向上に資する資本業務提携等の協力関係の構築を伴わないことから、株価に対する直接的な影響を与える可能性があると考えられること。

③ 新株予約権による資金調達には、発行時に必要な資金を調達できず、株価の動向により当初想定していた資金調達ができない、又は、実際の調達金額が当初想定されている金額を下回る可能性があること。

また、本第三者割当増資により当社株式の株式価値の希薄化が生じることになりますが、下記「5. 発行条件等の合理性（2）発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠」に記載のとおり、本第三者割当増資は当社の企業価値の向上及び株主価値の増大に資するものであり、結果として既存株主の皆様への利益向上にも資するものであり、本第三者割当による株式の希薄化の規模は合理的であると考えております。

3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期

（1）調達する資金の額

①	払込金額の総額	299,949,100 円
②	発行諸費用の概算額	1,000,000 円
③	差引手取概算額	298,949,100 円

（注）1. 発行諸費用の概算額には、消費税等は含まれておりません。

2. 発行諸費用の概算額は、主に、有価証券届出書等の書類作成費用、登記関連費用、その他諸費用等からなります。

（2）調達する資金の具体的な使途

a) 2022年5月30日を払込期日とする普通株式の公募増資及び2022年6月24日を払込期日とする普通株式の第三者割当増資に係る手取金の使途の充当状況

当社は、2022年5月30日を払込期日とする公募増資及び2022年6月24日を払込期日とする第三者割当増資による普通株式の発行を行ったことにより、合計502,761千円（差引手取概算額の合計490,500千円）を調達（以下「前回資金調達」といいます。）しましたが、前回資金調達に係る資金の充当状況は以下のとおりです。

具体的な資金使途	金額（千円）	支出時期
① 技術への投資	204,997	2022年6月～ 2023年6月
② 人材への投資	93,919	2022年6月～ 2023年6月
	298,916	

（注）前回資金調達に係る資金の充当状況は上記のとおりですが、前回資金調達の調達額のうち、191,583千円を2023年6月末時点では充当することができておりません。上記②に関しては、2023年7～8月に使用を予定しているものが37,853千円、2024年8月期に使用を予定していたものが154,097千円あることによるものでありますが、当社は、2024年8月期の採用予定人数を減らす見直しを行った結果、2025年8月末日までに支出時期を延長し、前回資金調達において上記②に充当する予定であった191,583千円のうち、未充当の150,848千円を、引き続き上記②の使途に充当することを予定しています。他方、上記①に関しては、前回資金調達に係る2022年5月20日付訂正届出書時点において、技術への投資に204,997千円を使用することを予定しており、各種技術開発投資として、204,997千円を充当いたしました。もっとも、下記「b) 本第三者割当増資による手取金の使途」記載のとおり、引き続き、当社事業の根幹となる技術及び人材への投資は継続して行う必要性が高いと考えております。したがって、当社は、前回資金調達において、上記②に充当する予定であった191,583千円のうち、未充当の150,848千円を、今回の資金調達とあわせ、引き

続き人材への投資に充当する予定であり、未充当の残額の 40,734 千円については上記①に充当し、下記のとおり前回調達資金に係る手取金の用途を変更いたします(変更点は下線で示しております。)

(変更前)

具体的な資金用途	金額 (千円)	支出予定時期
① 技術への投資	204,997	2022年6月～ 2024年8月
② 人材への投資	285,502	2022年6月～ 2024年8月
	490,500	

(変更後)

具体的な資金用途	金額 (千円)	支出予定時期
① 技術への投資	<u>245,731</u>	2022年6月～ 2024年8月
② 人材への投資	<u>244,768</u>	2022年6月～ <u>2025年8月</u>
	490,500	

b) 本第三者割当増資による手取金の用途

具体的な資金用途	金額 (千円)	支出予定時期
① 技術への投資	298,949	2023年10月～ 2026年8月

(注) 差引手取概算額は、上記のとおり支出する予定であり、支出予定時期までは当社取引銀行の口座にて管理する予定です。

①技術への投資

当社グループ（当社及び当社の関係会社）は当社事業に関わる先端技術や既存技術の更新開発を継続して取り組み進化させることが不可欠です。画像認識プラットフォーム AIZE においては顔認証 AI エンジンの精度向上、打刻システムである AIZE Biz と既存他社の勤怠システムとの連携機能開発、AIZE の活用領域拡大を目的とした感情推定 AI エンジンの技術企画、くわえて生成 AI の業務実装サービスに向けた研究開発、今後連結子会社となる株式会社ゼロフィールドにおける GPU サーバー事業の新商品開発および AIZE との連携サービスの開発に投資してまいります。研究開発費に 298,949 千円（2024 年 8 月期に 71,017 千円、2025 年 8 月期に 132,536 千円、2026 年 8 月期に 95,395 千円）を充当する予定です。

4. 資金使途の合理性に関する考え方

本第三者割当により調達する資金を、上記「3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期（2）調達する資金の具体的な使途」に記載の使途に充当することで、当社グループにおける収益基盤の一層の拡大を図るとともに、企業価値の向上を図ることができるため、本第三者割当は株主価値の向上に資する合理的なものであると考えております。

5. 発行条件等の合理性

（1）払込金額の算定根拠及びその具体的内容

本新株式の払込金額は、本第三者割当増資に関する取締役会決議日（2023 年 7 月 27 日）の属する月の直前 3 ヶ月間（2023 年 4 月 1 日から 2023 年 6 月 30 日まで）の株式会社東京証券取引所における当社普通株式の終値の単純平均値である 743 円（円未満四捨五入）といたしました。

本第三者割当増資に関する取締役会決議日の属する月の直前 3 ヶ月間の株式会社東京証券取引所における当社普通株式の終値の単純平均値としたのは、特定の一時点を基準にするより、一定期間の平均株価という平準化された値を採用する方が、一時的な株価変動の影響等特殊要因を排除でき、算定根拠として客観性が高く合理的であり、また 1 ヶ月平均では短期的相場変動の影響を強く受ける可能性があり、6 ヶ月平均では直近のマーケットプライスを適切に反映できない可能性があるかと判断したためであります。また、3 ヶ月平均の期間について、2023 年 4 月 1 日から 2023 年 6 月 30 日までを対象とした理由につきましては、本日適時開示しております「株式会社ゼロフィールドの株式の取得（子会社化）に関するお知らせ」に関連し、当社と割当予定先の出資者との交渉によるものでありますが、本第三者割当増資により希薄化が生じる一方、中長期的な企業価値及び株主価値の向上が見込まれること等も総合的に勘案し、当社の財務状況、業績予測、事業環境等を考慮しつつ、決定いたしました。第三四半期決算短信開示日（2023 年 7 月 13 日）後の株価を含めていない点につきましては、第三四半期決算短信開示後の株価推移を鑑み、特に有利な価額には該当しないと考えられるため、上記の発行価額に決定いたしました。

なお、この価格は、東京証券取引所グロース市場における当社の普通株式の確定取締役会決議日の前営業日（2023 年 7 月 26 日）における終値である 713 円に対して 4.21%のプレミアム（小数点以下第 3 位四捨五入。プレミアム率及びディスカウント率の計算において、以下同じ。）、1 ヶ月（2023 年 6 月 27 日から 2023 年 7 月 26 日まで）終値の単純平均値である 722 円（円未満四捨五入。終値の単純平均値において、以下同じ。）に対して 2.91%のプレミアム、3 ヶ月（2023 年 4 月 27 日から 2023 年 7 月 26 日まで）終値の単純平均値である 724 円に対して 2.62%のプレミアム、及び 6 か月（2023 年 1 月 27 日から 2023 年 7 月 26 日まで）終値の単純平均値である 765 円に対して 2.88%のディスカウントとなりますが、上記取締役会決議日の直前営業日並びに直前 1 ヶ月間、直前 3 ヶ月間及び直前 6 ヶ月間の終値の単純平均値に 0.9 を乗じた額以上の価額であることから、特に有利な価額には該当しないものと考えております。

かかる考え方は、日本証券業協会の「第三者割当増資の取扱いに関する指針」に準拠したものであります。また、当社監査役 3 名（その内 2 名が社外監査役）から、本第三者割当増資の払込金額は客観的である市場価格を基準としていることから、日本証券業協会の「第三者割当増資の取扱いに関する指針」に準拠し、特に有利な金額に該当しない合理的な金額であり、適法である旨の意見を得ております。

（2）発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

本第三者割当増資において発行する当社普通株式の数は 403,700 株（議決権数 4,037 個）の予定であり、2023 年 2 月 28 日現在の当社の総株主の議決権数 69,470 個に対して、5.81%の割合で希薄化が生じます。しかしながら、上記のとおり、PROCESS UNIT FUND 投資事業有限責任組合の出資受入を通じて、当社グループの業績向上にコミットしてもらうことを通じて、当社グループの中長期的な企業価値の向上に寄与するものであり、ひいては株主価値の向上に資するものであると考えていることから、本第三者割当増資による発行数量及び希薄化の規模は合理的であると判断いたしました。

6. 割当予定先の選定理由等

(1) 割当予定先の概要

(1) 名称	PROCESS UNIT FUND 投資事業有限責任組合	
(2) 所在地	東京都千代田区大手町二丁目1番1号大手町野村ビル 20 階	
(3) 設立根拠等	金融商品取引法に基づく LPS となります。	
(4) 組成目的	投資対象企業の事業拡大やバリューアップの支援を目的とする	
(5) 組成日	2023 年 7 月 26 日	
(6) 出資の総額	3 億 200 万円	
(7) 出資者・出資比率 ・出資者の概要	<p>1. 83.3% 村田 敦が所有する資産管理会社</p> <p>(株式会社ゼロフィールドの代表取締役であります。なお、今後代表取締役は退任予定であります。)</p> <p>2. 16.7% 平嶋 遥介が所有する資産管理会社</p> <p>(株式会社ゼロフィールドの取締役であります。なお、今後退任する村田敦氏の後任として、代表取締役に就任予定であります。)</p> <p>なお、ファンドの組成日は 2023 年 7 月 26 日ではありますが、スケジュールの都合上、組成時の主たる出資者は株式会社ディーシー・クリエイト（所在地：愛知県名古屋市中区栄二丁目 9 番 3 号 代表者：代表取締役 榎田 章博）となります。本日開示の「株式会社ゼロフィールドの株式の取得（子会社化）に関するお知らせ」に記載の通り、株式譲渡実行日である 2023 年 9 月 1 日以降遅滞なく、上記記載の出資者（村田敦が所有する資産管理会社及び平嶋遥介が所有する資産管理会社）への地位変更が行われる予定となります。</p>	
(8) 業務執行組合員の概要	名称	株式会社ソウデンコー
	所在地	東京都千代田区大手町二丁目1番1号大手町野村ビル 20 階
	代表者の役職・氏名	代表取締役 榎田 章博
	事業内容	電気関連事業・電気事業コンサルタント・不動産事業
	資本金	2,000 万円
(9) 国内代理人の概要	名称	該当事項はありません。
	所在地	該当事項はありません。
	代表者の役職・氏名	該当事項はありません。
	事業内容	該当事項はありません。
	資本金	該当事項はありません。
(10) 上場会社と当該ファンドとの間の関係	上場会社と当該ファンドとの間の関係	資本関係・人的関係・取引関係はありません。また、関連当事者にも該当しません。
	上場会社と業務執行組合員との間の関係	資本関係・人的関係・取引関係はありません。また、関連当事者にも該当しません。

	上場会社と 国内代理人 との間の関係	資本関係・人的関係・取引関係はありません。 また、関連当事者にも該当しません。
--	--------------------------	--

※当社は割当予定先である PROCESS UNIT FUND 投資事業有限責任組合及び出資者である村田敦氏並びに平嶋遥介氏、PROCESS UNIT FUND 投資事業有限責任組合の業務執行組合員である株式会社ソウデンコー及び代表取締役である榎田 章博氏（以下、「割当予定先等」という。）について、反社会的勢力とは一切関係のないことを聴取しております。また、日経テレコンやインターネット検索等の調査により、反社会的勢力と関わりがないものと判断しております。以上により当社は、割当予定先等については反社会的勢力とは一切関係がないと判断し、これに係る確認書を株式会社東京証券取引所に提出しております。

（２）割当予定先を選定した理由

当社グループは、厳しい環境を乗り越え今後も継続企業として株主様をはじめとするステークホルダーの利益を高めるため、当社グループの財務体質、経営基盤の強化、収益機会の創出を図っていくことが、当社グループの果たすべき役割であると認識しております。これらを実行していくために、当社グループ事業とのシナジー効果を発揮できる会社の M&A も含めた成長戦略を描いており、本日適時開示しております「株式会社ゼロフィールドの株式の取得（子会社化）に関するお知らせ」もその一環であります。当社のグループ会社となる株式会社ゼロフィールドの取締役である村田敦氏と平嶋遥介氏には、2023 年 3 月から 2023 年 7 月にかけての複数回の面談を経て、当社グループの経営方針・経営戦略等を含め共感していただきました。また、今回の割当予定先である PROCESS UNIT FUND 投資事業有限責任組合は、株式会社ソウデンコー（所在地：東京都千代田区大手町二丁目 1 番 1 号大手町野村ビル 20 階 代表者：代表取締役 榎田 章博）が組成した投資対象企業の事業面やバリューアップの支援を目的として組成されたファンドであります。株式会社ソウデンコーの代表取締役である榎田章博氏と村田敦氏及び平嶋遥介氏は株式会社リンクス（所在地：東京都港区愛宕二丁目 5 番 1 号愛宕グリーンヒルズ 34 代表者：代表取締役 鈴木 吾朗）の紹介を通じて知り合い、お互いの今後のビジョン等を共有する中でそれを契機に、村田敦氏及び平嶋遥介氏は PROCESS UNIT FUND 投資事業有限責任組合の出資者となっております。村田敦氏については、株式会社ゼロフィールドの代表取締役を退任する予定ですが、今後も顧問として主に営業面での協力をいただくことを想定しております。平嶋遥介氏については村田敦氏の後任として代表取締役に就任する予定であります。榎田章博氏については、社外協力者として主に営業先の開拓についての協力をいただく予定であります。割当予定先の関係者との協力関係を確固たるものとする目的で、PROCESS UNIT FUND 投資事業有限責任組合に本件第三者割当増資に応募していただくこととなりました。

（３）割当予定先の保有方針

当社は、割当予定先からは、本第三者割当により割り当てる当社普通株式について、中・長期に保有する意向であることを口頭にて確認しております。

なお、当社は、割当予定先から、割当予定先が払込期日から 2 年以内に本件第三者割当により発行される当社普通株式の全部又は一部を譲渡した場合には、その内容を当社に対し書面により報告すること、当社が当該報告内容を株式会社東京証券取引所に報告すること、並びに当該報告内容が公衆の縦覧に供されることに同意することにつき、確約書を取得する予定です。

（４）割当予定先の払込みに要する財産の存在について確認した内容

・ PROCESS UNIT FUND 投資事業有限責任組合

当社は、本第三者割当増資に係る払込金額は、割当予定先の組合出資金から払込みを行うとの説明を受けております。出資者である村田敦氏及び平嶋遥介氏につきましては、株式会社ゼロフィールドの株式譲渡代金の一部から出資する旨を確認しております。なお、当該株式譲渡代金は当社から 2023 年 9 月 1 日に払い込まれる予定となっており、当該資金の手当については当社が全額金融機関からの借入により行う予定であることから、払込みに要する資金を上回る金額を十分に確保できる予定であることを確認しております。

7. 募集後の大株主及び持株比率

募集前（2023 年 2 月 28 日現在）		募 集 後	
福原 聖子	33.77%	福原 聖子	31.92%
株式会社コスモウエア	25.90%	株式会社コスモウエア	24.48%

J P E 第 1 号株式会社	4.91%	PROCESS UNIT FUND 投資事業有限責任 組合	5.49%
株式会社キューブシステム	4.32%	J P E 第 1 号株式会社	4.64%
株式会社 TOKAI コミュニケーションズ	3.60%	株式会社キューブシステム	4.08%
東港金属株式会社	1.44%	株式会社 TOKAI コミュニケーションズ	3.40%
山田 雄一郎	1.30%	東港金属株式会社	1.36%
加藤 慶	0.75%	山田 雄一郎	1.22%
株式会社シーティーエス	0.75%	加藤 慶	0.71%
株式会社ファダム	0.72%	株式会社シーティーエス	0.70%

(注) 1. 2023 年 2 月 28 日現在の株主名簿を基準として記載しております。

2. 上記は発行済株式総数に対する所有株式数の割合を記載しております。割当後の持株比率は当社普通株式 403,700 株が発行された後の発行済株式数に基づき記載しております。

8. 今後の見通し

本第三者割当は当社グループの AIZE 事業の体制強化に繋がり、中長期的な成長と収益性改善に資するものと考えておりますが、2024 年 8 月期以降の当社グループの業績に与える影響は現在精査中です。なお、2023 年 8 月期の当社グループの業績に与える影響はございません。今後、開示すべき事項が発生した場合には速やかに開示いたします。

9. 企業行動規範上の手続きに関する事項

本件第三者割当は、① 希薄化率が 25%未満であること、② 支配株主の異動を伴うものではないことから、東京証券取引所の定める上場規程第 432 条に定める独立第三者からの意見入手及び株主の意思確認手続きは要しません。

10. 最近 3 年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

(1) 最近 3 年間の業績 (連結)

	2020 年 8 月期	2021 年 8 月期	2022 年 8 月期
連結売上高	1,791 百万円	2,122 百万円	2,424 百万円
連結営業利益	△174 百万円	60 百万円	133 百万円
連結経常利益	△166 百万円	83 百万円	115 百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	△260 百万円	38 百万円	112 百万円
1 株当たり連結当期純利益	△41.99 円	6.12 円	17.47 円
1 株当たり配当金	-	-	-
1 株当たり連結純資産	65.11 円	71.23 円	166.53 円

(2) 現時点における発行済株式数及び潜在株式数の状況 (2023 年 6 月 30 日現在)

	株 式 数	発行済株式数に対する比率
発行済株式数	6,970,600 株	100.0%
現時点の転換価額 (行使価額) における潜在株式数	614,000 株	8.8%
下限値の転換価額 (行使価額) における潜在株式数	-	-
上限値の転換価額 (行使価額) における潜在株式数	-	-

(注) 上記潜在株式数は、第 1 回、第 2 回、第 3 回及び第 4 回新株予約権に係る潜在株式数であります。

(3) 最近の株価の状況

① 最近 3 年間の状況

	2020 年 8 月期	2021 年 8 月期	2022 年 8 月期
始 値	-	-	2,200 円
高 値	-	-	2,319 円
安 値	-	-	1,026 円
終 値	-	-	1,378 円

(注) 2020 年 8 月期及び 2021 年 8 月期の株価に関しては当社株式が非上場であったため記載しておりません。

② 最近6か月間の状況

	2月	3月	4月	5月	6月	7月
始 値	718 円	805 円	858 円	765 円	668 円	754 円
高 値	1,065 円	970 円	957 円	778 円	818 円	755 円
安 値	712 円	766 円	591 円	662 円	665 円	679 円
終 値	804 円	847 円	755 円	670 円	739 円	713 円

(注) 7月の株価については、2023年7月26日現在で表示しております。

③ 発行決議日前営業日における株価

	2023年7月26日
始 値	708 円
高 値	728 円
安 値	704 円
終 値	713 円

(4) 最近3年間のエクイティ・ファイナンスの状況

・公募増資

払込期日	2022年5月30日
調達資金の額	425,184,000円(差引手取概算額)
発行価額	809.60円
募集時における発行済株式数	6,262,600株
当該募集による発行株式数	540,000株
募集後における発行済株式総数	6,802,600株
発行時における当初の資金使途	1 技術への投資として、AIZEの新規プロダクトのための技術開発投資等 2 人材への投資として、a)人材採用費、b)エンジニアに対する先端テクノロジー研修に係る研修費、c)営業・組織強化のための新規採用人員の人件費
発行時における支出予定時期	1 技術への投資として、2022年8月期に30,986千円、2023年8月期に73,208千円、2024年8月期に100,801千円 2 a)人材採用費として、2022年8月期に2,806千円、2023年8月期に59,600千円、2024年8月期に62,400千円 b)エンジニアに対する先端テクノロジー研修に係る研修費として、2022年8月期に280千円、2023年8月期に1,602千円 c)営業・組織強化のための新規採用人員の人件費として、2022年8月期に3,897千円、2023年8月期に63,218千円、2024年8月期に91,697千円
現時点における充当状況	①技術への投資(204,997千円)及び②人材への投資(93,919千円)資金に充当しております。

(注) 本公募増資につきましては、当社株式の新規上場時に実施したものであり、「発行時における当初の資金使途」、「発行時における支出予定時期」、「現時点における充当状況」につきましては、下記新規上場時の主幹事証券会社を割当先とする第三者割当増資の状況と併せて記載しております。

・第三者割当増資

払込期日	2022年6月24日
調達資金の額	65,316,000円(差引手取概算額上限)
発行価額	809.60円
募集時における発行済株式数	6,262,600株
当該募集による発行株式数	81,000株

募集後における発行済株式総数	6,883,600株（注）
割当先	いちよし証券株式会社
発行時における当初の資金使途	上記公募増資の「発行時における当初の資金使途」欄に併せて記載しておりますので、ご参照ください。
発行時における支出予定時期	上記公募増資の「発行時における支出予定時期」欄に本第三者割当増資との合計額を記載しておりますので、ご参照ください。
現時点における充当状況	上記公募増資の「現時点における充当状況」欄に併せて記載しておりますので、ご参照ください。

（注）「募集後における発行済株式総数」につきましては、上記公募増資の「募集後における発行済株式総数」に「当該募集による発行株式数」を加えた数となっております。

11. 発行要項

（１）募集株式の種類及び数	普通株式 403,700株
（２）払込金額	1株につき743円
（３）払込金額の総額	299,949,100円
（４）増加する資本金の額	149,974,550円
（５）増加する資本準備金の額	149,974,550円
（６）割当方法	第三者割当の方法により、下記の者に下記の数の当社普通株式を割り当てる。 PROCESS UNIT FUND 投資事業有限責任組合 403,700株
（７）払込期日	2023年9月29日（金）
（８）その他	上記各項については、金融商品取引法による有価証券届出書の効力発生を条件とする。

以 上